

12月園だより

令和4年12月1日

目黒区立目黒本町保育園園長

1歳児クラスの保育室で、子どもとやりとりして遊んでいるところにひとりの子どもが洗面器を持ってにこにこやってきました。その子どもは目を合わせにこっと笑い、洗面器を頭にかぶってぺこりとお辞儀をすると洗面器は豪快な音を立てて床に転がり落ちました。「あはははは」と声をあげて3人で笑いあい、今度は、その場にいた子どもが洗面器を拾って同じように頭にかぶります。持ってきた子どもも一瞬ハッとした表情を見せたもののこれで良いんだというようにその様子を見守り、ぺこりとお辞儀して床に転がるのを期待して待ち、予想通りの展開にまたまた3人で大笑いです。それから「次は私ね」というように、交代でかぶってはお辞儀して音を立てて転がる遊びを繰り返しました。

実は、この2日前に1歳児クラスの保育室にいった時に、同じ子どもたちと全く同じ遊びをしていました。その時はひとりの子どもが洗面器を頭にかぶりお辞儀をして洗面器が落ちて転がったのを別の子どもが拾おうとすると「私の」というように取り合いになりました。そこで別の洗面器を持ってきてそれぞれがやって遊び、その後に来た子どもが洗面器を拾って使おうとすると、今度は自然と譲って交代で使い、大笑いして楽しんだのでした。洗面器を頭にかぶること、床に落とすことはあまり望ましくないようにも見えますが、子どもからの楽しいよ、遊びたいよのサインだと感じたので、共に楽しむことにしました。

子どもはまた遊びたい、この人とこんなことをしたいという思いを持っていて、よく覚えているのだと思います。また、交代で使うことも教えたのではなく2日前に楽しく遊んだ経験から「そうだ、順番で使って楽しかったんだ」と思い出したように見えました。人との関わり方は、実際に関わって心地よい経験が重なっていくことで学び身についていくのだと考えています。集団生活の中で、思いがぶつかりあうことやうまく叶わないこともあります。それでも人といて楽しい、心地よい経験がたくさんできるように保育を考えていきます。

行事予定

子ども劇場（3、4、5歳児）
5歳クラス懇談会
もちつき（5歳）

中旬

身体計測
避難訓練

全園児
全園児



～友達と協力してあそぶ楽しさを育んで～

ある日のひと場面です。5歳児がレンガ積み木やカプラなどを上手に組み合わせながら、構造物を作っていました。きれいに並べ、重ねられた積み木はよく見ると場所によって高さが異なっています。「山手線の横は湘南新宿ライン、その上は新幹線」と言いながら「次は、山手線の上に歩道橋を作りたい」「じゃ、歩道橋の上に改札口も作ろうよ」と会話から“駅”を作っていることがわかりました。一見、それぞれが好きなように作っているように見えますが、聞いていると作る方法を相手に説明しているようでした。ひとりの子が「歩道橋の下の壁は、(カプラの幅の狭いほうを)積み重ねて作ろう」と提案したところ「ダメ、それじゃ壊れやすいから」となりました。どうするかを見ていると、提案した子が「見ていて、こうやって」と目の前で積みながら説明していました。すると、躊躇していた子も「壊れないようにそっと、あと、ちよっとずらして載せれば大丈夫だね」と一緒に壁を作りだしました。時にはうまくいかず、けんかになることもあります。お互いの思いを伝えあい、折り合いをつけながら自分たちで遊びを広げていく姿に成長を感じた場面でした。

(副園長)

～手作りおもちゃ～
 おうちでも作って一緒に遊んでみませんか

マラカス

材料

- ・ペットボトル2本
 (底の部分を使います)
- ・中に入れる物
 ビーズ、鈴、ボタン、
 モールなど
- ・ビニールテープ



3重ほどテープで

たくさん作って
 積んだり倒したり
 しても楽しいよ!



紙コップでジャンプ

【1 個目】



4 か所切り込みを入れる



シールを貼ったり
 好きな飾りを
 つけたりする



切り込み部分に輪ゴムを
 八の字にかける

材料

- ・紙コップ 2個
- ・輪ゴム
- ・シールなど

【2個目】



発射台として



2個目の紙コップ
 の上に重ねて
 下に押す



くびふり人形

材料

- ・紙コップ
- ・モール



棒にモールを巻き付け



中央にあけた穴に通し



描いた絵
 や好きな
 物を貼る

